

平成 30 年度事業報告

平成 30 年度は、「第 2 次中期計画」（平成 28 年度～30 年度）にもとづき事業を実施しました。

中期計画の数値目標である「会員数 1,520 名」については、新規入会会員数の増加もあり会員は前年度より増え 1,313 名になりましたが目標には届きませんでした。

もうひとつの数値目標である「契約金額 5 億 8,000 万円」については、派遣事業を推進した結果、5 億 7,527 万 3,458 円と目標契約金額の 99.1%に達しました。

契約金額の内訳をみると、請負契約では公共からの受注が増えたものの、7 月末での訪問介護事業所の閉鎖や一般家庭および民間企業からの受注の減少もあり、前年度を下回る契約金額となりました。

一方、派遣事業は前年度比 300.4%と大幅に契約金額を伸ばしました。

数値目標を実現するための「会員主体の組織の活性化と機能強化」についても、地域班活動、委員会活動、職能グループ活動などを通じて、取り組みました。

以下、事業計画の項目に沿って実績を報告します。

事業実施状況

1 会員の拡充と質的向上

目標会員数 1, 5 2 0 名

新規に 216 名が入会する一方、退会者が 199 でしたので、年度末の会員数は 1, 313 名となりました。前年度より 17 名増加しましたが目標の 1, 520 名には達しませんでした。

- (1) 広報委員会が作成したチラシを、市役所本庁舎や行政センターに配架させていただいたり、市内一般家庭に会員が自主的に配布したことで、新規会員の加入増加に

つながりました。

(2) 地域班を通じ会員による会員勧誘活動が行われ、22 名の新規会員が入会しました。

(3) 広報委員会編集による広報紙を年 3 回発行し、会員に対する連絡事項掲載、会員の投稿掲載、センター行事の報告等の情報提供を行いました。

(4) 市内を運行する京急バス 30 台分の車内広告掲出、市内配布のフリーペーパー 2 誌へ計 10 回の広告出稿を行いました。

(5) センターPRチラシを作成し、新聞折り込みチラシとして市内に 107,550 部配布しました。

(6) センターのPRを目的に、「ふれあいフェスティバル」「よこすか産業まつり」「ひくてあまたプロジェクト（生涯現役フォーラム）」「まなびかんまつり」「地域活動シンポジウム」「シニア就職相談・面接会」へ参加し、新規会員の加入増加や就業先の拡大につながりました。

(7) 「第3回文化展」を横須賀・三浦作業所連絡会の協力で開催し、590名の来場者にセンターの活動や地域貢献をPRしました。

(8) 入会説明会を11回開催し新入会員の増加を促進しました。

(9) 会員の知識・技術の向上を目的に、「植木剪定（初級2回・中級）」「除草講習（3回）」「刈払機安全取扱」「ハウスクリーニング」「ライフサポート研修（2回）」「男の料理教室（2回）」「普通救命」をテーマとした研修・講習会を開催し、計293名の会員が受講しました。

また、高齢者の交通安全講演会を開催し、58名の会員が参加しました。

(10) 新入会員を対象に「入会研修会」を実施し、就業時の接遇等について研修を行いました。

(11) 適正就業が履行されていない会員に対して、『適正就業ガイドライン』の周知を行いました。

(12) 会員対象の福利厚生サービスとしてポイント制度および会員の表彰を実施しました。

(13) 女性会員の親睦を深める「女性会員のお茶会（毎月）」を実施し、「クリスマス会」の開催や「着付同好会」「手づくりの会」の新規立上げなど女性会員の活動が広がり

ました。また女性の就業について考える「女性会員お仕事プロジェクト」では新たな事業の立ち上げを進めました。

2 契約金額の拡大

目標契約金額 5億8,000万円

前年度に比べ請負事業は減ったものの派遣事業は増加し、5億7,527万3,458円と目標契約金額の99.1%に達しました。また、就業率は73.6%となりました。

- (1) 派遣事業について新たに7事業所からの受注を開拓し、就業実績の増加につなげました。また就業会員数が38名増加しました。
- (2) 従来からの請負就業について、就業開拓委員会を中心に、会員・役員・職員が新たな就業先の開拓を実施しました。
- (3) 前記の広報活動、イベント出展等により就業実績拡大をめざしました。
- (4) 新たな就業先の開拓に向け、訪問介護事業委員会と就業開拓委員会により学童保育でのメニューの紹介およびニーズ調査を行いました。
- (5) 横須賀市が設置した「よこすか地域支え合い協議会」に参加し、総合事業への取り組みについて意見交換しました。

3 会員主体の組織の活性化と機能強化

- (1) 第2次中期計画に基づき、会員を中心に構成される8委員会が課題に取り組みました。また全委員が参加する「委員会大会」を開催し、各委員会が中期計画の進捗状況を発表し委員間の情報を共有しました。
- (2) 職能グループ活動の推進に取り組み、剪定・除草グループは23グループ155名、ハウスクリーニンググループは18名、お片づけグループは14名の会員が就業しました。
- (3) 各地域班では、会員が自主的に会員勧誘や就業機会の拡大に取り組みました。また、親睦活動やボランティア活動にも取り組みました。
- (4) 班長会が中心となり横須賀・三浦作業所連絡会の協力を得て「第3回文化展」を開催しました。44名の会員が159点の作品を出展し、センターのPRと会員間の親睦を深めるイベントとなり590名の来場者がありました。
- (5) 班長会による猿島での親睦歩こう会には46名の会員が参加しました。

4 会員の安全就業の推進と健康の維持向上

- (1) 「安全就労推進計画」を策定しました。
- (2) 7月・8月に地域安全対策推進員巡回パトロールを6日間実施し、44カ所を巡回しました。
- (3) 会員に対する健康診断の奨励として費用の一部を補助し、23名の会員が受診しました。
- (4) 安全標語の募集を行い、24名の会員から73点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選考し、広報紙に掲載するとともに、事務所に掲示しました。
- (5) 安全パトロール員による巡回パトロールを実施し、5月から12月の期間に293か所の就業場所をパトロールした結果、ヘルメット装着率は97.1%となりました。
- (6) 「安全就業基準」を新入会員に配付しました。
- (7) 安全就業促進のためヘルメットと安全帯の購入補助を行いました。
- (8) 高齢者の交通安全講演会を開催し58名の会員が参加しました。
- (9) 交通安全講演会の後、事故体験を3名の会員が発表しました。

5 地域への貢献

- (1) 活力、生きがい増進の促進として市内高齢者を対象としたゲートボール大会およびボウリング大会の開催に協賛しました。
- (2) 地域班活動として、11地域班は清掃活動、通学路の安全パトロール、資源物の収集等のボランティア活動を行ったほか、日帰りバス旅行などの親睦活動を行いました。また、共同募金運動の街頭募金に協力しました。
- (3) 第3回文化展を開催し、多くの市民に会場いただいたほか、横須賀・三浦作業所連絡会の出展がありました。